

# 新春対談

ガラス絵作家 児玉房子さん

児玉 絵や音楽、演劇

などにたずさわる芸術家の生活は小泉内閣の政治で本当にひどくなりました。六、七年前までは働く人も結構、絵を賣ったり、音楽会のキップを賣えたんです。それが悪政で貧富の差が大きくなり、庶民は将来が不安で精神的、金銭的なゆとりがなくなりました。

紙 文化行政は貧しく、文化は育ちませんね。

地域に根づく

を張った文化活動が大事な。遠野市では小中学生、高校生、市民による

市民劇が毎年、取り組ま

れています。花巻市東和町では商店街が「美術館」になり、若手の芸術家の作品を展示する「町並み美術館」が行われ、私も美術館に作品を展示させてもらいました。

## 農山村の課題

(3)

紙 品目横断的經營安定対策は、自由貿易最優先のWTO(世界貿易機関)体制に合わせて農業を「改革」しようという農業と農民の大リストラ計画です。

個別經營で四分以上(北海道は十数年以上)、集落営農では二十数年以上の經營規模がないと農業の担い手として認めず、約九割の農家が農政から排除されます。

児玉 一部の担い手だけが地域農業を支えることなどできないじゃないの。農山村はますます疲弊します。

紙 それが心配です。

児玉 一部の担い手だけが地域農業を支えることなどできないじゃないの。農山村はますます疲弊します。

て耕作放棄地も増大するでしょう。40%（カロリーベース）という低い食料自給率は、さらに下がることになります。

児玉 農業は生命をはぐくむ産業です。ここに農家の人に「鳴いているじゃない。かわいそうよ」といったら、今は金を出して人工授精だとうの。オス牛は小さいうちに肉にされちゃうんです。いくら牛でも牛らしく生きられる農業であってほしい。遺伝子組み換え大豆など、自然と安全を無視して、とっても

情しているのに相手になるオス牛がないのよ。農家の人に「鳴いているんじゃない。かわいそうよ」といったら、今は金を出して人工授精だとうの。オス牛は小さいうちに肉にされちゃうんです。いくら牛でも牛らしく生きられる農業であってほしい。遺伝子組み換え大豆など、自然と安全を無視して、とっても

# 担い手だけで農業維持困難 児玉



自然農法の田んぼを前に、農業、環境について語る  
紙さん（左）と児玉さん

紙 生き物が機械と同じ扱いにされています。牛だけじゃなくて人間も使い捨てです。派遣労働が当たり前になり、長時間、過重労働で病気になつても補償のないまま解雇される。

人も使い捨て

紙 生き物が機械と同じ扱いにされています。牛だけじゃなくて人間も使い捨てです。派遣労働が当たり前になり、長時間、過重労働で病気になつても補償のないまま解雇される。

農家の人も「国際競争に対応できない農業はない」という財界の主張を受け入れた自民・公明党の農政のもとで農作物価格を引き下げられ、輸入農産物との競争に追いつかれています。民

農家の人も「国際競争に対応できない農業はない」という財界の主張を受け入れた自民・公明党の農政のもとで農作物価格を引き下げられ、輸入農産物との競争に追いつかれています。民

# 地域に亀裂生む農政「改革」 紙

児玉 だから地域に根づいていますね。今年から品目横断対策が始まっています。将来を心配しています。

地域に根づく

意欲ある農家すべてを大切にする農業・食料政策を提示して対話をすすめています。食の安全を守

り農業を再生する農政をするのが私の願いです。（つづく）